



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 玉井商船

コード番号 9127 URL <http://www.tamaiship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本馬 修

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 木原 豊

TEL 03-5439-0260

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,326	△4.8	106	△76.1	△32	—	△37	—
23年3月期第2四半期	3,494	51.4	446	—	69	—	21	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △100百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △34百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.97	—
23年3月期第2四半期	1.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第2四半期	12,640		4,396		33.6	
23年3月期	12,463		4,556		35.3	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,246百万円 23年3月期 4,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・24年3月期期末配当予想額は、現時点では引続き未定です。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	△0.7	240	△73.9	30	△93.9	660	162.9	34.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	19,320,000 株	23年3月期	19,320,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	9,765 株	23年3月期	8,898 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	19,310,741 株	23年3月期2Q	19,311,143 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・24年3月期期末配当につきましては、現時点では引続き未定とさせていただき、今後の業績推移や事業環境などを勘案した上で、予想可能と判断されるに至った時点で、改めてお知らせすることとさせていただきます。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では景気回復が遅れ、欧州では、ギリシャに端を発する債務・金融危機による財政緊縮で経済が減速し、アジアでは、中国、インドなどの新興国でインフレ抑制の為に金融引き締めや欧米など海外経済の低迷を受け輸出が減速しそれまでの好調な経済もペース・ダウンする結果となりました。一方、わが国経済は、東日本大震災の影響で供給網の寸断や電力不足が生じ生産活動が急速に落ち込んだものの、その後供給網の制約が和らぐ中、復興需要も加わり徐々に回復が続きました。また、欧米経済の減速や欧州の財政・金融不安などを受け急激に円高が進み、これを受け輸出の伸び悩みが生じました。

外航ドライバルク船の海運市況は、新興国を中心に鉄鋼原料等の輸送需要が拡大しましたが、それ以上に新造船の大量竣工に伴う船腹供給圧力が高く、老齢船の解撤が進んでいるものの大型船を中心に市況は低迷しました。夏場を過ぎた頃から大型船の竣工が落ち着き、老齢船の解撤が加速したことにより市況は徐々に回復に向かいました。しかし、欧米の景気回復の遅れや財政・金融不安から為替は円高基調で推移し、また国際商品相場における原油価格の上昇により燃料油が高騰し海運を取り巻く事業環境は非常に厳しいものとなりました。

このような状況下、当社グループの外航海運部門では、ハンディマックス船型を中心に効率的な輸送を行いました。前第2四半期連結累計期間に比べ市況の水準が低迷したことや対米ドルの為替相場が円高で推移したことなどにより、減収減益となりました。一方、内航海運部門では、東日本大震災で国内景気は低迷しドライ貨物では輸送量が減少したものの、タンカー貨物では重油の輸送需要が比較的好調であったことにより、内航海運部門全体として前第2四半期連結累計期間に比べ僅かながら増収となりましたが収益の大幅な改善までには至りませんでした。当社グループ全体では、対前第2四半期連結累計期間比で減収減益となりました。

この結果、営業収益は3,326百万円（対前第2四半期連結累計期間比△167百万円、4.8%減）、営業利益は106百万円（同△339百万円、76.1%減）、経常損失は32百万円（前第2四半期連結累計期間69百万円の経常利益）、また四半期純損失は37百万円（前第2四半期連結累計期間21百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・外航海運業

支配船舶による国内向けボーキサイト、北米からの輸入穀物や南米からの水酸化アルミなどの輸送を行い、運航採算の向上に努めました。

営業収益は、前第2四半期連結累計期間に比べ市況の低迷、円高による影響などで、2,574百万円（対前第2四半期連結累計期間比△200百万円、7.2%減）となりました。営業費用は、燃料油価格が上昇したことによる運航費の増加などにより全体として増加しました。以上の結果、営業利益は、344百万円（同△376百万円、52.2%減）となりました。

・内航海運業

所有船によるボーキサイト残渣輸送、定期用船2隻による水酸化アルミなどの輸送、所有船1隻による重油輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船1隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前第2四半期連結累計期間に比べ燃料油価格の上昇に伴うバンカーサーチャージが増加したことなどで、678百万円（対前第2四半期連結累計期間比36百万円、5.7%増）となりました。営業利益面では、燃料油価格が上昇したことによる運航費の増加が大きく、9百万円の営業利益（同△0百万円、9.1%減）となりました。

・その他

当セグメントにおいては、営業収益は、73百万円（対前第2四半期連結累計期間比△2百万円、3.8%減）、営業利益は、20百万円（同△5百万円、22.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加し、12,640百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金の減少などにより275百万円減少した一方、固定資産は、主に建設仮勘定の増加などで452百万円増加したことによるものです。負債は8,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ336百万円の増加となりました。これは、海運業未払金、前受金の減少などにより流動負債が334百万円減少した一方、長期借入金の増加などにより固定負債が670百万円増加したものであります。

純資産は、四半期純損失37百万円や配当金57百万円などにより株主資本の減少95百万円とその他の有価証券評価差額金の減少によるその他の包括利益累計額の減少59百万円と少数株主持分の減少3百万円により、前連結会計年度末に比べ159百万円減少し、4,396百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、営業活動の結果得られた資金85百万円、投資活動の結果使用した資金898百万円、財務活動の結果得られた資金602百万円などを加減した結果、前連結会計年度末に比べ276百万円減少し、1,836百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、85百万円（前第2四半期連結累計期間比841百万円の収入減）です。これは、税金等調整前四半期純損失52百万円が計上されているうえに、減価償却費378百万円などの非資金費用の調整などがあり、たな卸資産の減少額91百万円、為替差損64百万円、支払利息63百万円などの増加項目に、仕入債務の減少額113百万円、法人税等の支払額195百万円などの減少項目を加減した結果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、898百万円（前第2四半期連結累計期間比2,949百万円の支出減）です。これは、主に建設仮勘定の増加に伴う有形固定資産の取得による支出919百万円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、602百万円です。（前第2四半期連結累計期間比1,566百万円の収入減）です。これは、主に長期借入れによる収入914百万円、長期借入金の返済による支出283百万円、株主への配当金の支払額58百万円、支払手数料30百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結会計期間以降における業績予想の見直しを行った結果、平成23年8月9日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成24年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「平成24年3月期第2四半期（累計）業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、第3四半期以降の為替レート及び燃料油価格は下記の通り想定しております。

	前回予想 (平成23年8月9日公表)	今回予想 (平成23年11月9日公表)
期中平均為替レート	1US\$=80円	1US\$=78円
予想燃料油価格	US\$650/MT	US\$670/MT

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,112,859	1,836,642
海運業未収金	248,719	278,540
貯蔵品	325,602	234,459
繰延税金資産	87,320	98,990
その他流動資産	217,645	267,692
流動資産合計	2,992,146	2,716,325
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	6,910,450	6,544,012
建物（純額）	336,590	331,902
器具及び備品（純額）	3,568	2,849
土地	168,938	168,938
建設仮勘定	1,220,000	2,135,000
その他有形固定資産（純額）	9,897	8,881
有形固定資産合計	8,649,445	9,191,583
無形固定資産	5,182	4,430
投資その他の資産		
投資有価証券	559,524	436,540
繰延税金資産	147,654	197,083
その他長期資産	109,658	94,427
投資その他の資産合計	816,837	728,051
固定資産合計	9,471,465	9,924,065
資産合計	12,463,612	12,640,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	354,724	241,190
短期借入金	—	62,000
1年内返済予定の長期借入金	565,090	560,590
未払法人税等	200,431	2,985
前受金	437,502	371,285
賞与引当金	46,316	46,916
役員賞与引当金	8,800	—
その他流動負債	114,659	108,116
流動負債合計	1,727,524	1,393,083
固定負債		
長期借入金	5,477,342	6,112,736
繰延税金負債	116,420	125,645
退職給付引当金	160,906	156,858
特別修繕引当金	175,040	205,289
長期末払金	121,800	121,800
資産除去債務	11,701	11,799
その他固定負債	116,450	116,365
固定負債合計	6,179,661	6,850,494
負債合計	7,907,185	8,243,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	280,268	280,268
利益剰余金	3,364,998	3,269,106
自己株式	△1,107	△1,210
株主資本合計	4,346,158	4,250,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,357	△3,456
その他の包括利益累計額合計	56,357	△3,456
少数株主持分	153,910	150,105
純資産合計	4,556,427	4,396,813
負債純資産合計	12,463,612	12,640,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
海運業収益	3,417,237	3,253,064
海運業費用	2,661,809	2,893,016
海運業利益	755,428	360,047
その他事業収益	76,820	73,878
その他事業費用	18,082	22,880
その他事業利益	58,738	50,998
営業総利益	814,166	411,045
一般管理費	367,829	304,533
営業利益	446,337	106,512
営業外収益		
受取利息	435	173
受取配当金	7,698	8,733
保険解約返戻金	7,041	—
燃料油売却益	6,128	—
その他営業外収益	1,384	1,419
営業外収益合計	22,688	10,326
営業外費用		
支払利息	59,975	63,817
支払手数料	276,605	35,224
為替差損	53,622	47,026
その他営業外費用	9,375	3,318
営業外費用合計	399,579	149,385
経常利益又は経常損失(△)	69,446	△32,547
特別利益		
固定資産売却益	—	8,125
特別利益合計	—	8,125
特別損失		
投資有価証券評価損	18,503	27,000
退職特別加算金	—	1,414
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,622	—
特別損失合計	22,125	28,414
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	47,320	△52,837
法人税、住民税及び事業税	128,583	1,162
法人税等調整額	△100,224	△17,516
法人税等合計	28,359	△16,353
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,961	△36,483
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,300	1,475
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,262	△37,958

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,961	△36,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,570	△63,614
その他の包括利益合計	△53,570	△63,614
四半期包括利益	△34,608	△100,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,509	△97,771
少数株主に係る四半期包括利益	△3,099	△2,325

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	47,320	△52,837
減価償却費	410,444	378,495
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,507	600
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△8,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△23,251	△4,048
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	9,928	30,249
受取利息及び受取配当金	△8,133	△8,907
支払利息	59,975	63,817
支払手数料	276,605	35,224
為替差損益(△は益)	61,534	64,976
無形固定資産売却損益(△は益)	—	△8,125
投資有価証券評価損益(△は益)	18,503	27,000
売上債権の増減額(△は増加)	63,232	△29,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	107,967	91,142
その他の資産の増減額(△は増加)	△164,301	△50,800
仕入債務の増減額(△は減少)	△107,512	△113,534
前受金の増減額(△は減少)	290,803	△66,216
その他の負債の増減額(△は減少)	△79,470	△12,627
その他	12,378	173
小計	973,516	335,960
利息及び配当金の受取額	8,133	8,907
利息の支払額	△55,813	△64,117
法人税等の支払額	1,293	△195,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	927,130	85,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,847,044	△919,900
無形固定資産の売却による収入	—	8,125
投資有価証券の取得による支出	△2,189	△1,987
貸付金の回収による収入	1,020	200
その他の収入	—	14,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,848,214	△898,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	62,000	62,000
長期借入れによる収入	2,713,952	914,064
長期借入金の返済による支出	△270,137	△283,170
支払手数料	△276,605	△30,804
配当金の支払額	△58,045	△58,506
少数株主への配当金の支払額	△2,960	△1,480
その他	△78	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,168,125	602,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61,534	△64,976
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△814,491	△276,216
現金及び現金同等物の期首残高	2,619,851	2,112,859
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,805,359	1,836,642

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外航海運業	内航海運業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,774,641	642,596	3,417,237	76,820	3,494,058	—	3,494,058
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,774,641	642,596	3,417,237	76,820	3,494,058	—	3,494,058
セグメント利益	720,926	10,984	731,911	26,034	757,946	△311,609	446,337

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業及び保険代理店業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△311,609千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外航海運業	内航海運業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,574,150	678,914	3,253,064	73,878	3,326,943	—	3,326,943
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,574,150	678,914	3,253,064	73,878	3,326,943	—	3,326,943
セグメント利益	344,289	9,985	354,275	20,173	374,449	△267,937	106,512

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△267,937千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社の連結子会社であるT.S. Central Shipping Co., Ltd. は、当社グループの船隊近代化の一環を目的として、平成23年11月上旬に同社所有船舶1隻を売却する予定です。これにより第3四半期連結会計期間に特別利益約10億円を計上する予定です。